

大学間協働による 防災人材養成

香川大学 危機管理先端教育研究センター
副センター長・特命教授 松本秀應

2019
**四国防災・危機管理
プログラム**
SHIKOKU Disaster Prevention and
Crisis Management Education Program

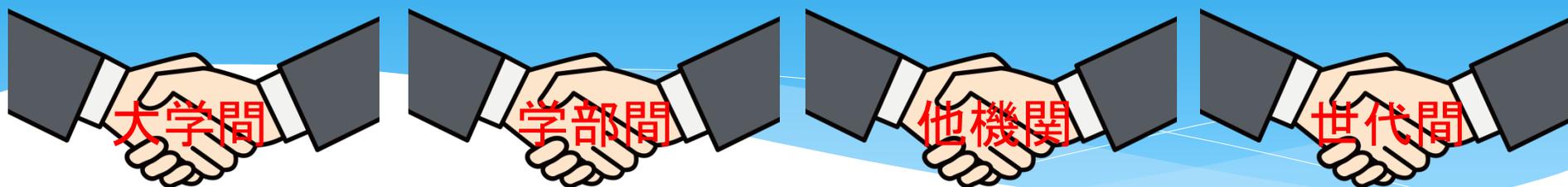
**行政・企業・医療防災・
危機管理マネージャー
養成コース(香川大学)**
地域社会を構成する自治体・企業・医療
機関等の組織のリスクマネジメント、
事業継続計画BCP/MCP策定、住民の安
全・安心を守る防災・危機管理マネ
ージャーの育成を目的とします。

**行政・企業防災・
危機管理マネージャー
養成コース(徳島大学)**
地域社会を構成する自治体・企業・地域
組織のリスクマネジメント、組織及び地域
のBCP策定、住民の安全・安心を守る防
災・危機管理マネージャーの育成を目的し
ます。

**学校防災・
危機管理マネージャー
養成コース(香川大学・徳島大学)**
地域コミュニティと連携して、学校・地域
の防災教育、教育継続計画(ＥＣＰ)策定、完
成・生徒の安全・安心を守る指導者の育
成を目的とします。

四国防災共同教育センター

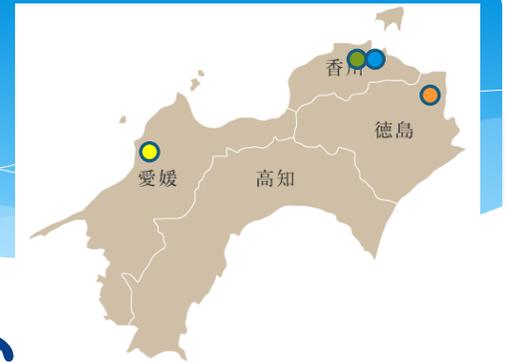
四国防災・危機管理プログラムとは



- 目標:大規模広域災害やグローバル化する危機に対して適切に対応出来る**防災人材**を養成する
- 実施体制:香川県と徳島県の協力のもと、香川大学、徳島大学、愛媛大学を**TV会議システム**で接続しての講義、一堂に会しての**合宿形式**での実習
- 開設コース:**「行政・企業」**、「医療」、「**学校**」の3つの**防災・危機管理マネージャ養成コース**
- 受講生:**大学院生、社会人**

協働

大学間協働



香川大学、徳島大学、愛媛大学をTVシステムで接続しての講義と、合宿形式での実習



< 講師陣 >

- ・講義内容に最適な教員が講義を担当。

< 受講生 >

- ・立地が違うことによる被害の内容、程度の違いから、災害対応への広範な気づきが生まれる。

学部間協働

工学系、医学系、教育系学部が協働し、
「行政・企業」「医療」「学校」コースを展開



学校コースの講義風景

プログラム修了生数

コース	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	合計
行政・企業防災コース	37	11	29	22	24	123
医療防災コース	3	3	7	3	3	19
学校防災コース	5	2	6	0	0	13
合計	45	16	42	25	27	155

<講師陣>

<受講生>

- 他分野の考え方の理解。
- 他分野とのネットワークの形成に寄与。

※平成29年度以前と平成30年度以降はコース分類が異なる

2019年 カリキュラム(講義科目群)

区分	科目名称	単位数	開講学期	曜日
共同実施基礎科目	リスクコミュニケーション (1年生)	2	前期	月 18:30～
	危機管理学 (1年生)	2	前期	火 18:30～
	災害と健康管理・メンタルヘルスケア(1年生) メンタルヘルスケア(1年生)	2	後期	火 18:30～
	防災・危機管理実習 (1年生)	1	後期	集中 (11/30～12/1)
行政・企業・医療防災・危機管理 マネージャー養成科目群 (香川大学)	行政・企業・医療のリスクマネジメント(1年生)	2	後期	水 18:30～
	事業継続計画 (BCP・MCP) の策定と実践(2年生)	2	前期	月 16:20～
行政・企業防災・危機管理 マネージャー養成科目群 (徳島大学)	行政・企業のリスクマネジメント(1年生)	2	後期	水 18:30～
	事業継続計画 (BCP) の策定と実践(2年生)	2	前期	月 16:20～
実務演習科目	行政・企業防災・危機管理実務演習(2年生)	1	後期	
	救急救命・災害医療実務演習(2年生)	1	後期	
	学校防災・危機管理実務演習(2年生)	1	後期	

分野、領域の違い

右と左 みぎとひだり



＜あなたは末期のがんと診断されました。
通常の治療では生存が難しい状況で
すが、新開発の技術を応用した手術を
すれば・・・＞

- 7割は成功して完治します。
- 3割は失敗して死亡します。

どうするか、ご自分でご判断ください。

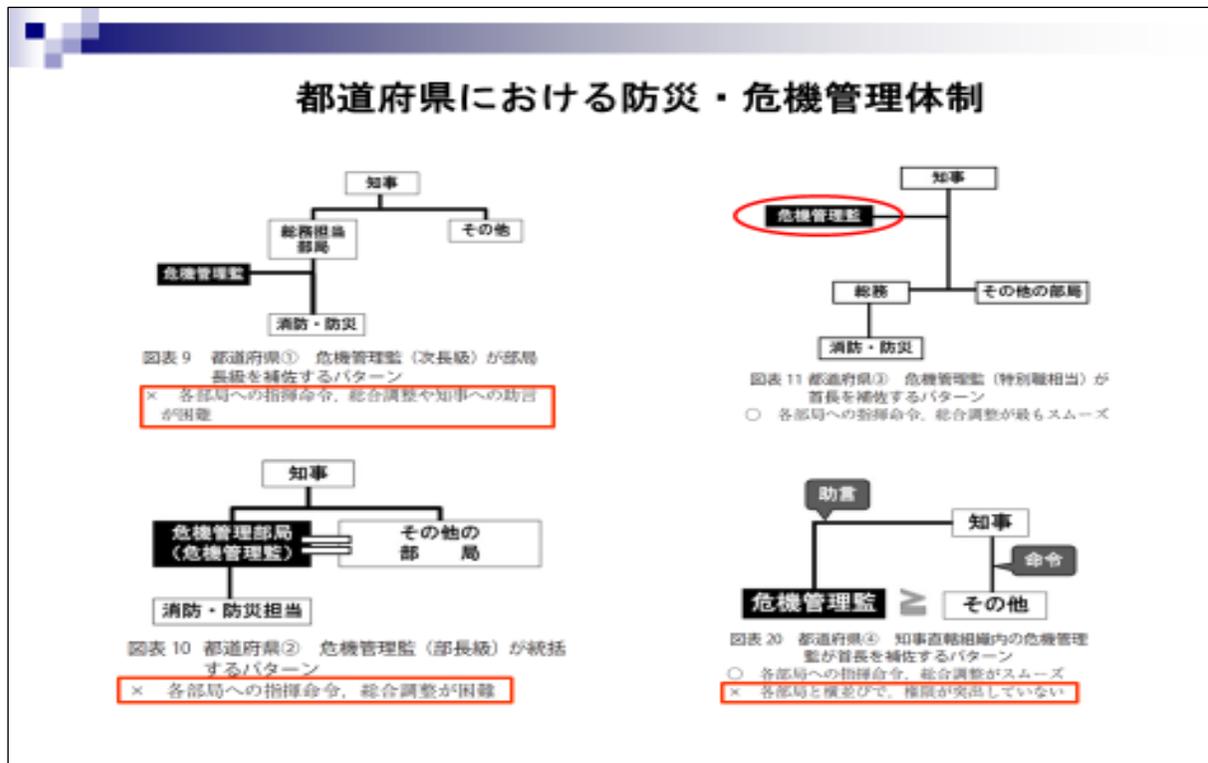
＜隔離＞

- 感染者を隔離
- 感染してはいけない健常者を隔離



他機関協働

行政(国、県、自衛隊など)、企業、医療
など他機関からの外部講師による講義



<講師陣>

- ・実現現場の担当者や経験者が講師を務める。
- ・日々変化・進化する被害と災害対応に対応。

<受講生>

- ・他機関の考え方の理解
- ・他機関の受講生のネットワークの形成に寄与。

受講生間協働

大学院生と社会人が共に学ぶ

下は20代の大学院生、上は70代の社会人



<講師陣>

- 社会人からは、現場や仕事に基づいた意見や判断。
- 大学院生からは、知識や経験が少ないことから、一住民、若者の視点での意見や判断。

<受講生>

- 双方が刺激し合い、教え、教えられ
- 社会人の学ぶ姿勢に大学院生が・・・

※平成30年度の防災・危機管理実習より

実践的な講義

グループワークを多く含む講義、訓練を中心とした実習や研修により、実践的な防災人材を養成



The Paper Tower
限られた資源と時間で
一番高いタワーを作る



災害・危機対応マネージャー

四国防災・危機管理プログラムを
修了すると、「災害・危機対応マ
ネージャー」の資格を認定

表



四国をかたどったバッジ

裏



裏には認定番号

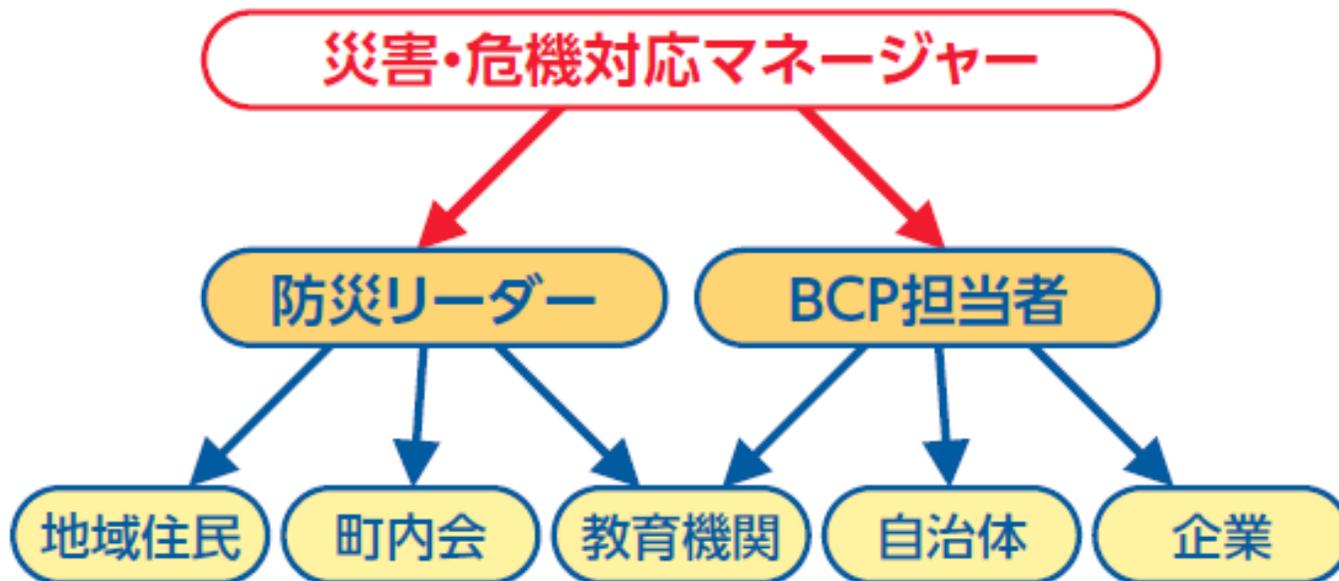


「災害・危機対応マネージャー」は
徳島大学・香川大学の登録商標です

災害・危機対応マージャー



災害・危機対応マネージャーに
期待される位置づけは



- 実践的な知識や技術を習得
- 職場や地域における防災・危機管理のリーダー
- 職場や地域の防災力の向上に寄与
- 研究機関や自治体との橋渡し

災害・危機対応マネージャーの活動

あらゆる分野で活躍しています

行政

- 「坂出市 全職員に防災教育」(2019/1/30 読売新聞)
 - 災害・危機対応マネージャー(坂出市役所職員)が企画
 - 2019年度
防災・危機管理スペシャリスト養成プログラムを実施し中核となるプロフェッショナルの職員を養成
 - 2020年度～
坂出市全職員 約480人に対し研修を実施

企業

- 美馬市消防本部と協定を締結(株式会社エス・ビー・シー)
 - 災害時にドローンによる情報収集や創作作業を行う
 - 操船、山岳救助、大規模土砂災害訓練等を実施
- 企業の復旧対応シミュレーションゲーム作成
 - 事業継続計画の設定
 - 様々な業種への対応を目指す(製造業、自治体、病院…)

医療

- ワークショップ型少人数災害研修会の実施(香川大学医学部附属病院)
- 災害係の設置(救急救命センター)
 - 災害に対応できるスタッフの人材育成
 - ✓ 初期対応に必要な知識・技術の習得
 - ✓ 危機管理能力向上、管理的視点の拡大

学校・地域

- 地域コミュニティでの防災講座
 - 避難所運営訓練、避難シミュレーションゲーム等
- 高校への出前講座
- 技能実習生等への防災指導(国際交流協会の日本語教室)
- 小学校の避難訓練のサポート
- 防災かるたの作成



四国の防災・危機管理を支援する

NPO 災害・危機対応支援センターを平成28年設立

- **目的:** 四国の防災・危機管理を支援
- **会員:** 防災・減災の研究者・実務者等の専門家
- **事業:** 人材育成事業、普及啓発事業、教育・研究活動事業
- **その他:** 四国防災・危機管理プログラムの修了生のスキルアップ、フォローアップの役割も

講師派遣メニューの紹介

◆講師派遣メニューの一例をご紹介します。ご要望に合わせて対応が可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

市民対象

- ◆市民向け防災講座
- ◆防災訓練への支援
- ◆避難所運営ワークショップ
- ◆地区防災計画策定の支援
- ◆ローテク防災術講習
- ◆災害イメージ訓練

学校対象

- ◆防災訓練への支援
- ◆防災学習・講演会
- ◆防災マップづくり
- ◆震災体験談の講演
- ◆防災マニュアル作成への支援

企業対象

- ◆事業継続計画（BCP）策定への支援
- ◆防災管理制度への支援
- ◆BCP訓練・演習への支援
- ◆防災訓練への支援
- ◆防災・危機管理からの地域貢献活動への支援

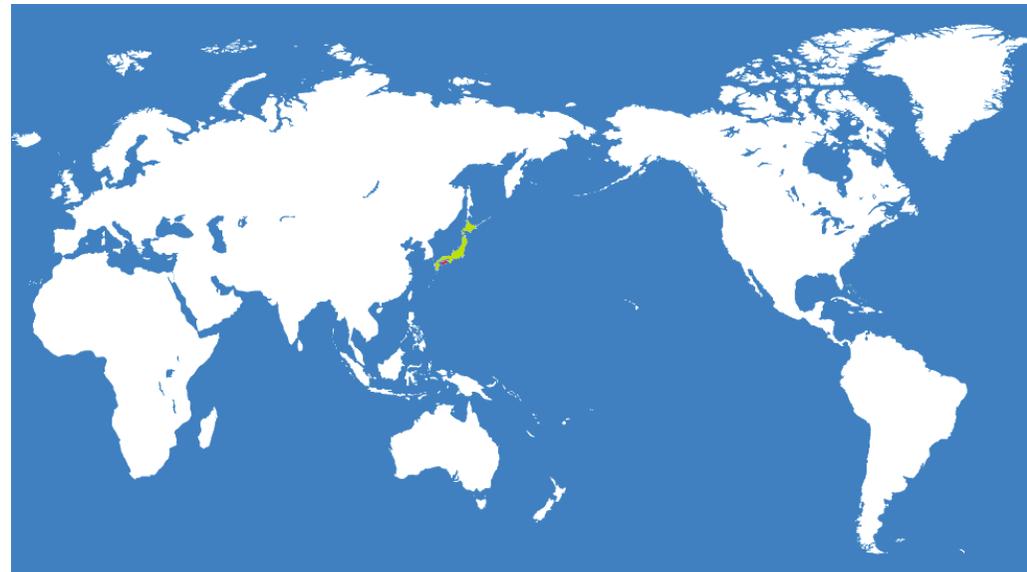
医療・福祉対象

- ◆災害医療研修会
- ◆トリアージ訓練
- ◆事業継続計画（BCP）策定への支援
- ◆防災訓練への支援
- ◆災害時アクションカード作成への支援

今後は

さらなる本プログラムの普及に向けて

- ・「防災危機管理統一教育プログラム」の開発
- ・「防災・危機管理プログラム」の四国・全国展開、アジア並びに諸外国への普及
- ・「四国防災・危機管理プログラム（普及版）」の作成と試験運用



〇〇間協働の裏側では

熱意、努力、コミュニケーションが・・・



- 大学、学部、機関、立場を超えての取り組みには、互いの立場、文化、風土の違いを理解し、認め合うことが必要。
- 違いを理解するにはコミュニケーションが必要。
- どうしても折り合いがつかないことも出てくる。
- 防災人材養成への熱意がエネルギー源。

人と人

ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2017

教育機関部門 金賞を受賞





ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2017

グリーンレジリエンス大賞新設記念 グリーンレジリエンスシンポジウム

開催日時 2017年3月15日(水) 13:00~15:00(12:30受付開始) 開催場所 有楽町朝日ホール(11階 スクエア) 〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン11階

主催者挨拶 中静 透氏 (東北大学大学院生命科学研究科 教授 総合防災強靱化研究センター 特任教授) 高谷 幸宏氏 (九州大学大学院 工学研究科 教授)

事例発表 グリーンレジリエンス大賞 上位入賞団体 6団体による事例発表

表彰員による挨拶 中静 透氏 (東北大学大学院生命科学研究科 教授 総合防災強靱化研究センター 特任教授)、高谷 幸宏氏 (九州大学大学院 工学研究科 教授)

トークセッション MCにタレント 眞鍋かをり氏をスペシャルゲストに迎えて

14:15~15:00(6分)

定員 500名様

ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2017 表彰式

開催日時 2017年3月15日(水) 開催場所 有楽町朝日ホール(12階) 16時00分~18時30分(15分30分受付開始) 〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン12階

定員 500名様

主催者挨拶
三浦 惲 (一般社団法人 レジリエンスジャパン 推進協議会 会長/日本電産株式会社 取締役 会長)

<エンタリーから選定・表彰>
グランプリ 特別顧問賞
二階俊博 (国土強靱化提唱者)賞
古屋圭司 (初代国土強靱化担当大臣)賞
特別賞 佐々木則夫賞 会長賞

<部門毎に選定・表彰>
金賞 最優秀レジリエンス賞
優秀賞 優良賞

グリーンレジリエンス大賞
グランプリ 大賞 金賞
最優秀賞 優秀賞 優良賞

<グランプリ表彰プレゼンター(予定)>
チャイルド・レジリエンス・アワード2017 グランプリ表彰 松本 純氏 (国土強靱化担当大臣)
グリーンレジリエンス大賞 グランプリ表彰 山本 公一氏 (環境大臣)

スペシャルトーク「レジリエンス認証」

MCにタレント 眞鍋かをり氏をスペシャルゲストに迎えて

細坪 信二氏 (特定非営利活動法人 事業継続推進機構 理事・専務理事/国土強靱化賞取団体代表(レジリエンス認証) 表彰委員会 委員)

レジリエンス認証 取得企業 株式会社ローソン、医療法人社団友愛会